



## 慶應義塾大学ビジネス・スクール

### ME ノート (4)

#### “ REG ” について

5

以下はBASICのシステムに入ってから解説である。MS-DOSシステムの場合は先ず附録(8ページ以降)を参照のこと。

1. このプログラムは回帰分析を行うプログラムである。通常のパラメーターの出力の他に、簡単な変数変換(変数の除去を含む)と予測、および簡単な残差のチェックを行うことができる。

10

2. 実行に当っては先ずMEノート(3)の1~3をよく読んでデータファイル“data0”を作成する。その手順は先ず、

```
load “D=GEN”®
```

としてライン番号1~4999にデータ文で自分の分析したいデータを入力する。それが終わったら自由に名称をつけて、例えば“ABC”で

15

```
SAVE “ABC”®
```

として別に確保する。

次いで

```
RUN®
```

20

とすると“data0”が作成される。

次に

```
load “REG”®
```

```
RUN®
```

25

とするとプログラムの実行が開始される。

以下に実行の際の画面での応答の仕方と出力について、実行の際の順序に従って簡単に説明する。

#### 3.1) 入力データの確認

30

実行開始と同時に、入力データの確認が行われる。画面に2行の数字(変数の数が多いときには何行かにわたる)が打出される。最初の行はデータ番号1、第2行は最後のデー